

平成 30 年度 国の施策・予算に関する提案・要望 政府予算案（住宅まちづくり部関係）

平成 30 年 1 月 31 日
大 阪 府

※平成 29 年 12 月 22 日現在で国の各省庁からの情報により作成したものです。

〔摘要欄〕 ○：ほぼ要望どおり措置等の見込み △：一部措置等される見込み ※金額上段：30 年度要求額 ※〔全〕全国枠予算、〔国〕国費ベース、
×：措置等されない見込み (下段：29 年度予算額) 〔事〕事業費ベース

要望・提案事項	概算要求状況等	予算内容等	摘要
活力と魅力ある都市空間の創造 1. うめきた 2 期の都市空間創造の推進 ・国費の確保 ・地方債に係る制度拡充 ・新産業創出機能の実現に向けた支援	◆概算要求の状況 国土交通省 ○国際競争拠点都市整備事業 〔全〕 106.7 億円 (〔全〕 82.65 億円)	〔全〕 92.6 億円	△
	◆予算項目以外の状況 ・地方債に係る拡充は実現していない。 ・新産業創出機能の実現に向け、「うめきた 2 期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会」に国関係機関がアドバイザーとして参画。		
2. 新たなエリアマネジメント手法の構築 以下の事項を可能とする包括的な日本版 BID 制度の創設 ・エリアマネジメント団体への公共施設管理権限の拡大 ・活動財源の確保 ・寄付金に対する税制優遇措置	◆予算項目以外の状況 ・日本版 BID 制度の実現等については、まち・ひと・しごと創生総合戦略（H29.12）において、BID 制度を含むエリアマネジメントの推進として「必要な法制を含め制度化の施策展開を行う」ことが明記された。 ・エリアマネジメント団体への寄付金に対する公益法人並みの税制優遇措置については実現していない。		△
	3. 彩都東部地区の事業化の促進 ・都市再生機構に対する適切な指導 ・必要な国費の確保	◆概算要求の状況 国土交通省 ○防災・安全交付金 〔全〕 1 兆 2,982 億円 (〔全〕 1 兆 1,057 億円)	〔全〕 1 兆 1,117 億円
◆予算項目以外の状況 ・都市再生機構については、来年度も都市計画変更に向けた調整や、事業化に向けた地権者合意形成等に向け地元地権者協議会の事務局の役割を継続する予定となった。			
減災に繋げる災害に強い住まいと都市の形成 1. 密集市街地の整備 ・国費率引上げ、国費の重点配分 ・東日本大震災の復興事業と同等の地方財政措置 ・感震ブレイカーの設置促進	◆概算要求の状況 国土交通省 ○社会資本整備総合交付金（通常分） 〔全〕 1 兆 484 億円 (〔全〕 8,940 億円) ○防災・安全交付金 〔全〕 1 兆 2,982 億円 (〔全〕 1 兆 1,057 億円) ○密集市街地総合防災事業 〔全〕 50 億円 (〔全〕 27 億円)	〔全〕 8,886 億円 〔全〕 1 兆 1,117 億円 〔全〕 32 億円	△
	◆予算項目以外の状況 ・国費率の引上げ、地方債に関する特別措置等の制度拡充については、実現していない。 ・国において、感震ブレイカーの普及促進に向け、重点的に設置促進すべき地域をさらに拡大する検討が進められている。		
2. 住宅・建築物の耐震化の促進 ・耐震対策緊急促進事業の運用期限の延長、国費率の引上げ ・地方負担に対する特別交付税措置の拡充 ・既存耐震不適格建築物に該当するか現状で判断が困難な建築物への対応 ・平成 22 年度補正予算で実施された緊急支援事業と同様の制度創設 ・耐震改修促進税制による所得税控除拡充、耐震改修工事完了後の固定資産税減額に係る税制優遇制度の拡充 ・建物所有者などを特定できる仕組みの創設	◆概算要求の状況 国土交通省 ○防災・安全交付金（再掲） 〔全〕 1 兆 2,982 億円 (〔全〕 1 兆 1,057 億円) ○耐震対策緊急促進事業 〔全〕 140 億円 (〔全〕 120 億円)	〔全〕 1 兆 1,117 億円 〔全〕 120 億円	△
	◆予算項目以外の状況 ・耐震対策緊急促進事業の運用期限の延長、国費率の引上げについては、実現していない。 ・地方負担に対する特別交付税措置の拡充については、実現していない。 ・既存耐震不適格建築物に該当するか現状で判断が困難な建築物への対応方針は示されていない。 ・平成 22 年度補正予算で実施された住宅の耐震改修等に対する緊急支援事業と同様の制度創設については実現していない。住宅の耐震化について、補強設計から耐震改修までパッケージで支援する新たな仕組みにより制度拡充される。 ・耐震改修促進税制による所得税控除拡充については実現していない。また、耐震改修工事完了後の固定資産税については、税額を 1/2 とする特例期間が延長された（2 年間）。 ・固定資産税情報の内部利用を可能とする制度改正については、実現していない。		

